

# 令和元年度 事業報告

## ライフケアセンター オークス東海

特別養護老人ホーム オークス東海（短期入所）

オークス東海デイサービス

居宅介護支援事業所

在宅サポートオークス東海

オークスライフサイエンス学院

社会福祉法人オークス・ウェルフェア

## 目次

特別養護老人ホーム オークス東海	1
外部研修参加状況	4
内部研修実施状況	6
ユニット活動報告	7
委員会活動報告	16
特別養護老人ホーム オークス東海短期入所	26
オークス東海デイサービス	27
居宅介護支援事業所 オークス東海	28
在宅サポート オークス東海	29
オークスライフサイエンス学院	33

特別養護老人ホーム オークス東海

【入居・退去状況】

1、特別養護老人ホーム利用状況

定員 90 名

市長村名	本期初日現員	入所人員	退所人員	本期末現員	
東海村	65	16	16	65	
ひたちなか市	13	2	3	12	
水戸市	1	0	0	1	
常陸太田市	2	0	0	2	
日立市	3	1	0	4	
那珂市	2	1	1	2	
城里町	1	0	0	1	
常陸大宮市	0	1	0	1	
いわき市	1	0	0	1	
加須市	1	0	1	0	
県内計	87	21	20	88	
県外計	2	0	1	1	
合計	89	21	21	89	
内訳	男	18	6	7	17
	女	71	15	14	72

2、特別養護老人ホーム稼働率

	31年4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働率	98.0%	95.8%	97.3%	96.3%	98.1%	98.8%
実態数	2648人	2673人	2626人	2701人	2736人	2668人
在籍数	2665人	2757人	2680人	2786人	2789人	2698人
最大可能数	2700人	2790人	2700人	2790人	2790人	2700人

	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月
稼働率	97.3%	98.5%	96.5%	98.2%	99.4%	97.8%
実態数	2714人	2660人	2691人	2741人	2595人	2728人
在籍数	2781人	2667人	2767人	2759人	2595人	2771人
最大可能数	2790人	2700人	2790人	2790人	2610人	2790人

### 3、入居者介護度、年齢別状況

	人数	要介護度					年齢				平均	
		1	2	3	4	5	61～	71～	81～	91～	年齢	88.1歳
男	25		1	11	8	5		3	13	9	入所期間	3年1ヶ月
女	64	1	5	22	25	11		8	28	28	要介護度	3.64
計	89	1	6	33	33	16		11	41	37	申込者数	50人

令和2年3月

#### 【各委員会の活動】

1、リスクマネジメント、QOL向上、質の高いケアの提供のために次の委員会活動を実施しました。

・安全感染対策委員会、給食委員会、身体拘束適正化委員会、行事レク委員会、褥瘡対策・排泄委員会、環境整備委員会、接遇教育委員会、安全衛生管理委員会。

詳細は各委員会の報告通りです。

2、施設全体の情報共有、施設運営のために次の会議を実施しました。

・ユニット会議（毎月1回）、リーダー会議（毎月1回）、運営会議（毎月1回）、入居判定会議（毎月1回）

また、法人全体の意見交換と情報共有の為に以下の部会を開催しました。

（看護部会）

年3回開催しました。

（ケアマネ部会）

毎月集会を行い、勉強会を実施しました。

#### 【研修】

外部・内部研修を通して、職員のスキルアップを図り、ケアの質の向上に努めました。年間の研修参加状況は別紙をご参照ください。

#### 【地域との繋がり】

入居者様の社会生活を継続し、更に地域福祉の拠点としての役割を果たしました。

##### 1、地域交流

① 入居者様の外出支援、外泊支援

② 施設見学の受け入れ

見学のみ：5名

入居検討者：28名

③ 地域園児や学生、市民活動ボランティアの慰問受け入れ

- ・園児：舟石川保育所（R1年11月7日）  
あおぞら保育園（R1年11月12日）
- ・東海南中：総勢41名（R1年6月5, 6, 7日）
- ・教員免許志願者介護体験：8名
- ・音楽ボランティア：毎月5回 ユニット巡回し活動
- ・見守り傾聴ボランティア（はーとふる）：実働6人
- ・清掃ボランティア：水戸信用金庫（R1年6月15日）
- ・施設行事慰問：新年会、納涼祭、敬老会で実施

2、相談活動、苦情相談

① 入居者様やご家族様からの相談・苦情には、すぐに対応し、安心して生活できる環境を整えました。

- ・特養：1件、デイ：0件

② 地域の皆様からの福祉全般にわたるご相談にも随時対応いたしました。

- ・来所しての介護相談、電話での介護相談がありました。

③ 介護相談三者連絡会（年2回）において、介護相談員様との情報交換をしました。

④ 頂いた苦情については、対応策を協議し謝罪・報告・掲示しました。

**【福利厚生】**

社会福祉法人オークス・ウェルフェア合同親睦会の規約に基づいて活動しました。

外部研修参加状況

月 日	研修名	参加者
2019/5/27	令和元年度介護サービス施設 事業所管理研修会	中村 晴美
		祖田 光
2019/5/31～7/3	介護支援専門員 更新研修	墨谷 しのぶ
2019/7/19	茨城県社会福祉法人経営青年会 令和元年度 第1回セミナー	内藤 さおり
2019/6/7	第1回県北ブロックケアマネージャー研究会	鈴木 久美
2019/6/20	リーダーのための接遇マナー研修	長嶋 希世子
		斎藤 里美
2019/6/26	実務に活かせる論理的思考を身につける	野田 素子
2019/7/19	茨城県社会福祉法人経営青年会主催「アマゾンのリーダーシップ 14条の理念」	内藤 さおり
		野田 素子
2019/8/22	障害者採用面接のポイント	祖田 光
2019/8/27	社会福祉等 中堅職員研修 A コース	池田 匡
		野田 素子
2019/9/6	ひたちなか保健所管内感染症対策研修会	中島 愛美
2019/9/13	安全運転管理者講習	墨谷 しのぶ
2019/9/20	AM 精神・発達障害者 しごとサポーター養成講座  PM 障害者就職面接会	墨谷 しのぶ
		内藤 さおり
		中村 晴美
		祖田 光
2019/9/20	通所介護事業所研修	古瀬 裕子
2019/10/7・8	ファシリテーション研修	祖田 光
2019/10/9	看取りケア研修会	渡邊 麻紀子
		遠藤 晶子
		石井 彩奈
2019/10/16	人材確保につなげる広報研修(WEB 編)	桐原 奈緒也
		祖田 光
2019/10/16	保安講習会	墨谷しのぶ
2019/10/16	個別ケアとケアプラン	植田 智香
2019/10/17	社会福祉施設看護職員研修	林 さゆり
2019/10/21	自己肯定感を高める	工藤 正貴
2019/10/29	社会福祉施設等中堅職員研修	仁田 沙由香
		横山 友紀

2019/11/7	身体拘束廃止取組職員向け研修会	齋藤 祐司
		高野 莉沙
2020/1/22	メンタルヘルス研修	鈴木 久美
		大野 裕美
		中野 一輝
2020/1/29	家族からのヘビークレームへの対応策	墨谷 しのぶ
		野地 真純
		中島 愛美
		照沼 真佐子

内部研修実施状況（伝達講習）

日 時	内 容	担当及び講師
4月1～9日 (計7日)	新卒入職者研修	採用担当 (講師：接遇・教育委員等)
4月24日	水消火器による消化訓練・ 消火栓の使用方法を学ぶ	防火管理者(池田)
5月9日	結核について	安全感染対策委員会 (講師：高際)
6月5・13・21日	食中毒予防研修	給食委員会 (講師：嘉村)
6月10・18・26日	フィジカルロックについて学ぶ	身体拘束適正化委員会 (講師：池田)
7月2日	正しいオムツの当て方や パットの給水量について学ぶ	褥瘡対策・排泄委員会 (講師：白十字 谷様)
8月20・22・29日	アンガーマネジメント	接遇・教育委員会 (講師：黒澤)
10月9日	インフルエンザ対策について	安全感染対策委員会、給食委員会 (講師：ひたちなか保健所職員)
12月5・9・20日	虐待と不適切なケア	身体拘束適正化委員会 (講師：飛田)
1月10・23・29日	除圧について学びを深め実践し 利用者の気持ちを体感する	褥瘡対策・排泄委員会 (講師：祖田)
2月7・13日	認知症介護と水分について	接遇・教育委員会 (講師：桐原)
8月6・26・28日	防災訓練(放射能災害時の陽圧システム 作動方法について学ぶ・施設内にある備 蓄品を知る)	防火管理者(池田)
12月4日	避難訓練(夜間を想定した避難訓練・煙 体験)	防火管理者(池田)

なでしこユニット

	ユニット行事	特養行事
4月		
5月	外出レク（千波湖ドライブ）	
6月		
7月	納涼祭	納涼祭
8月		
9月	敬老会	敬老会
10月		
11月	外出レク（ヨークタウン）	
12月	クリスマス会	
1月	新年会	新年会
2月	節分	節分（豆まき）
3月	ひな祭り	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（あおいユニットと合同）

※入居者様の誕生日にお誕生日会を実施

ふじ ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	外出レクお花見（笠松運動公園）	
5月	カップケーキ作り、ボーリング大会	
6月		
7月	納涼祭	納涼祭
8月		
9月	敬老会	敬老会
10月	外出レク（テラパーク）、おやつレク	
11月	外出レク（テラパーク）、おやつレク	
12月	クリスマス会	
1月	新年会	新年会
2月	節分豆まき ホットケーキ作り	節分（豆まき）
3月	おやつレク※お花見ドライブ中止の為	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（たけユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

たけ ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	外出レクお花見（笠松運動公園）	
5月	カップケーキ作り、ボーリング大会	
6月		
7月	納涼祭	納涼祭
8月		
9月	敬老会	敬老会
10月	外出レク（テラパーク）、おやつレク	
11月	外出レク（テラパーク）、おやつレク	
12月	クリスマス会	
1月	新年会	新年会
2月	節分豆まき ホットケーキ作り	節分（豆まき）
3月	おやつレク※お花見ドライブ中止の為	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（ふじユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

かしわ ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	外出レク ネモフィラ	
5月	クレープ作り	
6月		
7月		納涼祭
8月	かき氷作り	
9月		敬老会
10月	ドライブレク 紅葉	
11月		
12月	クリスマス会	
1月		新年会
2月		節分（豆まき）
3月	チョコフォンデュパーティー	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（たちばなユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

たちばな ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	ドライブ（海浜公園）	
5月	お茶会	
6月	お楽しみ会	
7月	お茶会	納涼祭
8月	ボーリング大会	
9月	敬老会 ひよっこ踊り・よさこい	敬老会
10月	ハロウィンパーティー	
11月	ドライブ（笠松運動公園）	
12月	クリスマス会	
1月	かるた大会	新年会
2月	バレンタインパーティー	節分（豆まき）
3月	ホワイトデーパーティー	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（かしわユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

あやめ ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	お花見ドライブ	
5月	作品作り	
6月	作品作り	
7月	外出レク	納涼祭
8月		
9月	敬老会	敬老会
10月	ハロウィンお茶会	
11月	紅葉ドライブ	
12月	クリスマス会 年賀状作成	
1月	新年会	新年会
2月	紙粘土のひな人形作り	節分（豆まき）
3月	ひな祭り・お茶会	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（さつきユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

さつき ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	お花見ドライブ	
5月		
6月	七夕短冊書き	
7月	七夕飾り	納涼祭
8月		
9月	敬老会	敬老会
10月	カラオケ大会	
11月	紅葉ドライブ	
12月	クリスマス会	
1月	新年会	新年会
2月	節分	節分（豆まき）
3月	ひなまつり会	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法（あやめユニットと合同）

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

うめ ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	外出 海浜公園 (雨天のためファッションクルーズへ)	
5月	どら焼きパーティー	
6月	ウッドデッキでお茶会	
7月	アクアワールド大洗へ外出	納涼祭
8月	施設駐車場で花火大会&ミニ BBQ	
9月	パフェ作り	敬老会
10月	ミニストップへ買い物	
11月	手形リース作り	
12月	クリスマス会	
1月	初詣 (村松虚空蔵尊へ外出) 鍋パーティー	新年会
2月		節分 (豆まき)
3月	カラオケ&晩酌会	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法 (ももユニットと合同)

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

もも ユニット

	ユニット行事	特養行事
4月	外出 海浜公園 (雨天のためファッションクルーズへ)	
5月	どら焼きパーティー	
6月	ウッドデッキでお茶会	
7月	アクアワールド大洗へ外出	納涼祭
8月	施設駐車場で花火大会&ミニ BBQ	
9月	パフェ作り	敬老会
10月	ミニストップへ買い物	
11月	手形リース作り	
12月	クリスマス会	
1月	初詣 (村松虚空蔵尊へ外出) 鍋パーティー	新年会
2月		節分 (豆まき)
3月	カラオケ&晩酌会	

※毎月一回、ボランティアによる音楽療法 (うめユニットと合同)

※入居者様の誕生日には誕生日会実施

安全・感染対策委員会

月	活動内容	担当者	備考
4月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・前年度活動報告 ・内部研修①準備	植田	
5月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①→同じ内容で3回 ・内部研修②準備	高際	《研修①内容》 服薬介助について 5/15、18、22実施 (36名参加)
6月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①反省会 ・内部研修②→同じ内容で3回	山口	《研修②内容》医務と合同 救急救命講習 6/5、15、25実施 (69名参加)
7月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修②反省会	平林	
8月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	岩城	
9月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③準備	舛井	9/20外部研修「高齢者施設における感染症対策について」野田、高際参加 →伝達講習実施
10月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③→同じ内容で3回	野田	《研修③内容》給食委員と合同 ・インフルエンザ・ノロ対策・吐物処理 方法 10/15、23、31実施 (63名参加) 10/31外部研修「施設における感染症対策 豆知識」高際参加→伝達講習実施
11月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③反省会	熊谷	
12月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	大内	
1月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	大山	1/25～入居者3名、職員4名インフルA発 症 面会制限1/30～2/17実施
2月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	岡崎	
3月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・年間活動の反省と次年度の活動計画	西尾	

## 給食委員会

食べるということは最も自然な栄養補給方法です。食べることによって食欲が満たされ、満足感が得られます。家族や友人など誰かと一緒に食卓を囲み、快い食事をする事で、栄養分の吸収力が高まり、ストレスの解消や心の安定も得られます。

ただ生きるためだけの食事を提供するのではなく、食事の意味、楽しさ、大切さといった「心の栄養」を提供することを目標とした活動を行いました。

### ① 年間活動・行事報告

4月	バイキング	10月	十三夜/バイキング
5月	こどもの日/バイキング	11月	バイキング
6月	バイキング	12月	冬至/クリスマス/バイキング/大晦日
7月	七夕/土用の丑の日/バイキング	1月	正月/七草粥/バイキング
8月	バイキング	2月	節分/バイキング
9月	敬老の日/十五夜/バイキング	3月	ひな祭り/バイキング※

※新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年3月18日以降に実施を予定されていたバイキングは中止となりました。

### ② 月別平均食事提供数（職員含む）

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	90.3	121.2	90.3	301.8
5月	89.7	122.4	89.7	301.8
6月	91.3	120.1	91.5	302.9
7月	90.5	122.0	90.4	302.9
8月	91.3	122.8	91.5	305.6
9月	91.9	123.2	91.8	306.9
10月	91.6	123.7	91.7	307.0
11月	92.1	124.7	92.5	309.3
12月	91.6	122.0	91.6	305.2
1月	91.7	119.2	91.9	302.8
2月	92.5	124.1	92.4	309.0
3月	91.4	123.6	91.8	306.8
年間	91.3	122.4	91.4	305.2

③ 活動内容

月	活動内容	備考
4月	・定例会 ・年間活動計画立案・見直し	定例会 ・利用者（特養/ショート/デイ）の身体状況及び 栄養状態の報告、対策の検討
5月	・定例会	
6月	・定例会 ・上半期施設内部研修準備	上半期施設内部研修
7月	・定例会 ・上半期施設内部研修実施	・家庭でできる食中毒予防
8月	・定例会 ・上半期施設内部研修反省	下半期施設内部研修 ・インフルエンザ等感染症対策勉強会
9月	・定例会	
10月	・定例会 ・下半期施設内部研修準備	
11月	・定例会 ・下半期施設内部研修実施	
12月	・定例会 ・下半期施設内部研修反省	
1月	・定例会	
2月	・定例会	
3月	・定例会 ・嗜好調査 ・本年度活動反省	

身体拘束適正化委員会

1、委員

委員長…祖田

副委員長…飛田

委員…池田、齋藤(祐)、小泉、高野、山口、根本、岡崎、河西

2、活動内容

月	実施予定日	内容
4月	9日	定例会議
	25～30日	実態調査：身体拘束実施なし
	1日～5日	新人研修
5月	14日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
6月	11日	定例会議
	24日～30日	実態調査：身体拘束実施なし
	10・18・26日 ※同内容3回実施	施設職員研修① 参加者：103名 ・『フィジカルロックについて』
	26日	第1回身体拘束廃止大委員会
7月	9日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
8月	13日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
9月	10日	定例会議
	24～30日	実態調査：身体拘束実施なし
10月	8日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
11月	12日	定例会議
	24～30日	実態調査：身体拘束実施なし
12月	10日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
	5・9・20日 ※同内容3回実施	施設内職員研修② 参加者：63名 ・意識調査実施 ・『身体拘束・虐待を考える』（事例検討・グループワーク）

1月	14日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし
2月	11日	定例会議
	23～29日	実態調査：身体拘束実施なし
	26日	第2回身体拘束廃止大委員会 新型コロナ感染対策のため中止となる
3月	10日	定例会議
	25～31日	実態調査：身体拘束実施なし

#### 反省・感想

- ・ 上期は施設全体での参加人数も多かったが、下期は人員不足な時期であったこともあり参加できない職員もいた。
- ・ 研修はいずれも充実した内容でよかったと思う。  
特にグループワークは他者の思いや考えを知るきっかけにもなり、今後も継続していきたいと思う。
- ・ 年間を通し身体拘束は実施なく経過できた。しかし、スピーチロックをしていたと自覚がある人や、そういった場面を見たことがあると答えた職員もおり、業務改善やアンガーマネジメントなどの研修も必要と思われる。

行事・レク委員会

月	行事	活動内容
4月	①定例会 ②年間活動計画立案 ③お花見④誕生会	委員紹介、活動内容確認、納涼祭の企画、担当割り振り 各ユニットでお花見を計画し、季節を感じていただきました。
5月	①定例会 ②端午の節句 ③誕生会	納涼祭の担当ごとの話し合い 各ユニットで端午の節句の装飾、おやつに柏餅の提供
6月	①定例会 ②誕生会 ③七夕準備	納涼祭準備、七夕祭りの企画…本物の竹を1Fと2Fに設置し、短冊に願い事を書いてもらったり、折りで作った飾りを結んで初夏を感じていただきました。
7月	①定例会 ②納涼祭 ③誕生会	納涼祭最終確認、7/21(日)納涼祭実行…慰問ボランティアによる余興、ランチバイキング、カラオケ大会等を盛り込み、職員やご家族様とお祭りを楽しんでいただきました。
8月	①定例会 ②誕生会	敬老会の企画、準備 各ユニット企画…花火鑑賞等
9月	①定例会 ②敬老会 ③誕生会	9/8(日)敬老会実行…表彰式や記念撮影、慰問ボランティアによる参加型の余興で、一体となって楽しんでいただきました。敬老会の反省。
10月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	新年会の企画、担当割り振り 各ユニットで紅葉ドライブの内容を決めて、様々な紅葉ポイントへ出掛けて秋を感じていただきました。
11月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	新年会準備、節分の企画 各ユニットで紅葉ドライブの内容を決めて、様々な紅葉ポイントへ出掛けて秋を感じていただきました。
12月	①定例会 ②クリスマス会 ③誕生会	新年会準備、節分の担当決め 各ユニットでクリスマス会を企画。用意したプレゼントを渡して、ケーキを食べて過ごしていただきました。
1月	①定例会 ②新年会 ③誕生会	1/6(月)新年会実行…船場ホールに手作りの神社を設置。フォトスポット、おみくじの用意。獅子舞に扮した職員が各ユニットを回り、賑やかに新年を迎えていただきました。
2月	①定例会 ②節分 ③誕生会	新年会の反省 2/3(月)節分行事実行…鬼に扮したユニット職員が各ユニットを回り、利用者様に豆撒きをしてもらい無病息災を願いました。
3月	①定例会 ②桃の節句 ③誕生会	1年間の振り返り 各ユニットで桃の節句の企画、装飾。おやつや食事を桃の節句用にしてもらい、春の訪れを感じていただきました。

## 褥瘡対策・排泄委員会

### ○メンバー：

石井、高際、嘉村、斎藤(幸)、中村、川崎、大串、照沼、青木、田所、福田、山本(大)、入江、桐原

### ○定例会開催：毎月第1火曜日 14時より

### ◎活動方針：

- ・オムツ発注・補充・在庫管理業務を通し、最適な排泄環境を提供する。
- ・オムツ使用者の課題点を出し合い、意見交換や解決に向けての話し合いを行う。
- ・メーカー担当者招致による内部研修や、施設内勉強会を開催し、職員の排泄介助の知識と技術の向上を図る。
- ・看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行い、褥瘡になりそうな方、現在なっている方の把握をし、対策を行う。

### ◎月別実施報告

4月	①定例会	②オムツ使用状況調査	③年間活動計画立案
5月	①定例会	②オムツ使用状況報告	③発注方法等検討
6月	①定例会		
7月	①定例会	②内部研修開催（メーカー担当者招致による）	
8月	①定例会		
9月	①定例会		
10月	①定例会		
11月	①定例会		
12月	①定例会	②褥瘡対策内部研修打ち合わせ	
1月	①褥瘡対策内部研修(施設内職員による)		
2月	①定例会	②委員会内での勉強会の実施	
3月	①定例会	②年間活動報告	年度末反省会

### 反省点

- ① メーカー担当者招致による内部研修では研修の様子をビデオ撮影し、参加できなかった職員に対しても情報を提供することができた。
- ② 2月には委員会内で排泄に関する勉強会を実施した。委員会職員が排泄介助への理解を深め伝達することで、ユニット職員の技術向上にもつながった。
- ③ 褥瘡についての話し合いでは、看護師、管理栄養士、ユニットスタッフ間の情報共有を行うことができた。
- ④ 褥瘡対策の勉強会で使用したスライディンググローブを、各ユニットに配布した。また、勉強会の内容がとてもよかったという声が多く聞かれた。

## 環境整備委員会

- 平成31年4月 委員会開催・意見交換・カーテン清掃依頼
- 令和元年 5月 委員会開催・意見交換・各ユニットの排水溝、居室エアコンの清掃依頼
- 6月 委員会開催・大掃除前の清掃箇所、水源、物品の確認
- 7月 大掃除（大掃除報告書あり）
- 8月 委員会開催・意見交換・職員玄関入口水道清掃
- 9月 委員会開催・意見交換・各ユニットの巡回
- 10月 委員会開催・意見交換
- 11月 委員会開催・大掃除前の清掃箇所、職員配置の確認
- 12月 大掃除（大掃除報告書あり）
- 令和2年 1月 委員会開催・意見交換
- 2月 委員会開催・意見交換・年度末反省・清掃箇所の見回り
- 3月 委員会開催・年度末清掃（施設草むしり・除草剤まき）

## 接遇教育委員会

- 4月 ①定例会議  
②年間活動計画立案  
③新卒職員研修
- 5月 ①定例会議
- 6月 ①定例会議  
②職員対象公用車研修（6／3、6に実施）
- 7月 ①定例会議
- 8月 ①定例会議  
②内部研修【アンガーマネジメント】（8／22、29に実施）
- 9月 ①定例会議
- 10月 ①定例会議  
②職員対象公用車研修（10／8に実施）
- 11月 ①定例会議
- 12月 ①定例会議
  
- 1月 ①定例会議
- 2月 ①定例会議  
②内部研修【高齢者と水分】（2／7、13に実施）
- 3月 ①定例会議  
②年間活動報告、年間反省会

\* 不定期、抜き打ちで月の担当者が職員の身だしなみチェックを実施。

### 定例会議

身だしなみチェックにおける問題点の共有、チェック表の改訂、公用車研修の担当決め、内部研修の内容・担当決め、参加者確認など。

## 安全衛生管理委員会

### 1、活動目的

- ・職場内の安全衛生管理を円滑に推進する。

### 2、参加者

- ・委員長…産業医 1 名
- ・委員…衛生管理者（2 種）1 名、委員 5 名

### 3、活動内容

月	活動内容
4 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(目の病気について)
5 月	定例委員会 職場巡視(異常なし)
6 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(認知症について) 夜勤実施職員健康診断 全職員腰痛調査
7 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 健康診断・腰痛調査結果確認(産業医)
8 月	定例委員会 職場巡視(異常なし)
9 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(ストレスをためない方法：ビデオ鑑賞)
10 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(インフルエンザ感染を防ぐポイント)
11 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(腰痛について) 全職員健康診断・腰痛調査・ストレスチェック実施
12 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 健康診断・腰痛調査・ストレスチェック結果確認(産業医)
1 月	定例委員会 職場巡視(異常なし)
2 月	定例委員会 職場巡視(異常なし) 勉強会(新型コロナウイルスについて)
3 月	定例委員会 職場巡視(異常なし)

本年度は産業医との面談を希望した職員はいませんでした。

## 特別養護老人ホーム オークス東海 短期入所

「本人・家族に身体的・精神的な安心を提供する」をショートステイの基本理念とし、本人様・家族様がショートステイを利用して良かったと感じることができるよう、活力のある有意義なサービスの提供を目標にまいりました。

### 1、活動行事（特養の行事を含む）

- 4月
- 5月外出レク(コンビニ)
- 6月 BBQ
- 7月納涼祭
- 8月
- 9月敬老会
- 10月外出レク(常陸太田市道の駅)
- 11月
- 12月クリスマス会
- 1月新年会
- 2月節分
- 3月

※毎月1回 音楽療法

### 2、稼働率

4月	86%	5月	78%	6月	79%	7月	80%
8月	90%	9月	95%	10月	95%	11月	94%
12月	81%	1月	82%	2月	87%	3月	76%

## オークス東海デイサービス

利用者の有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目標として、利用者、家族の要望に応じ、自宅での生活が維持できるよう支援してきました。

### 1、活動行事

- 4月 お花見お買い物レク、船場学童交流会、バイキング
- 5月 選択レクリエーション、バイキング
- 6月 常陸太田道の駅外食、バイキング
- 7月 船場学童交流会、夏祭り、バイキング  
7月16日避難訓練（大地震後の原子力臨界事故想定）
- 8月 佐野学童交流会、中学生職場体験、バイキング  
船場学童交流会
- 9月 敬老会（ボランティア慰問）、バイキング
- 10月 運動会、お買い物レク、バイキング、  
10月12日（土）台風の為営業中止
- 11月 手作りおやつ（パフェ）、こども園交流会、バイキング
- 12月 クリスマス会、こども園交流会、手作りおやつ（たこ焼き）バイキング  
12月17日避難訓練（水害想定）
- 1月 新年会、外食（魚米）、バイキング
- 2月 節分イベント、おやつ作り、バイキング、大学生介護体験  
移動販売とくしまる（毎週火・金）
- 3月 ひな祭りイベント、船場学童交流会、こども園交流会、バイキング  
移動販売とくしまる（毎週火・金）

### 2、稼働率

4月	66.1%	5月	66.8%	6月	66.7%	7月	65.7%
8月	63.9%	9月	65.5%	10月	63.4%	11月	67.9%
12月	70.1%	1月	68.5%	2月	67.0%	3月	70.3%

居宅介護支援事業所 オークス東海

1. 契約者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	0	4	3	5	6	6	2	4	8	6	5	10
支援	1	0	0	1	3	1	1	1	1	0	2	2

2. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	85	82	85	85	91	93	94	94	95	95	101	105
支援	28	28	27	26	26	27	28	28	26	26	27	26

3. 新規利用・復帰利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	1	0	3	0	6	3	1	2	5	4	7	7
支援	7	0	0	1	3	2	1	1	1	0	3	2

4. 利用中止・休止者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	0	3	0	0	0	1	0	2	4	4	1	3
支援	0	0	1	2	3	1	0	1	4	0	2	3

5. 認定調査委託件数:ひたちなか市役所、東海村役場、その他の保険者より依頼

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	2	4	4	1	9	4	5	7	5	5

6. 営業活動について

- ①東海村役場やひたちなか市役所窓口に、当事業所のパンフレットを設置。
- ②地域包括支援センターへ当事業所の新規契約者受け入れ可能状況を伝え、新規利用者獲得に繋げる。

7. 人員配置について

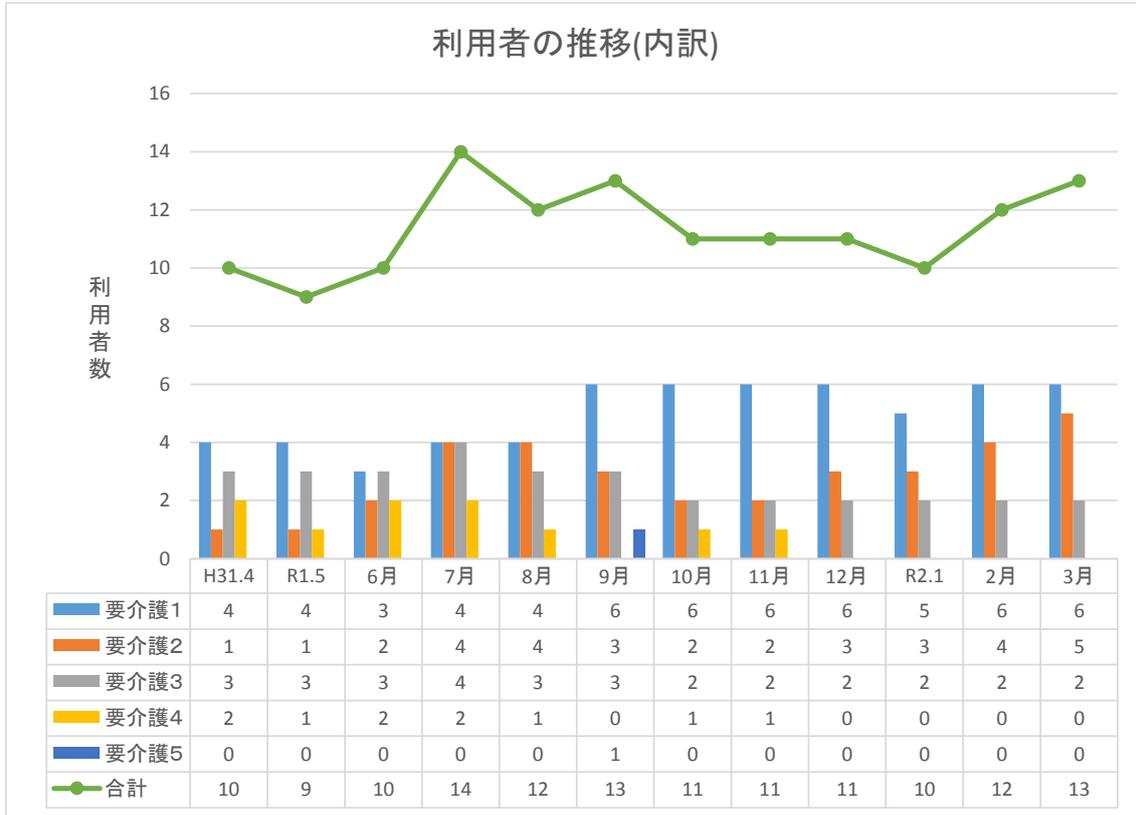
- ・5名体制

在宅サポートオークス東海

1. 運営状況報告

(1) 定期巡回サービス利用状況

① 介護祖別利用者数、推移(内訳)



平均要介護度：1.5 平均年齢：83.3歳 男性：4名 女性：9名

(R2年3月現在)

② 利用開始・利用停止の理由

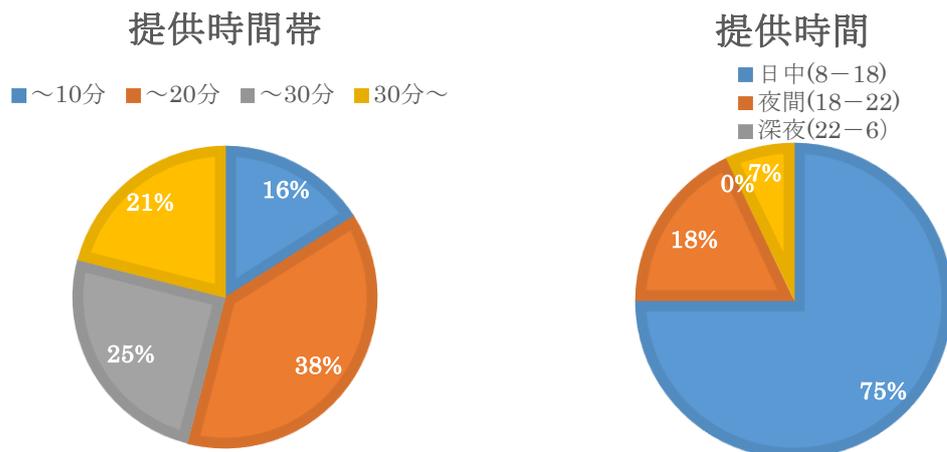
【開始】

- 服薬確認、介助（1）
- 安否確認、見守り（6）
- 退院直後、ADL低下（4）
- 看取り（2）
- その他（1）

【停止】

- 死亡（4）
- 入院（2）
- 入居（3）
- ADL向上（2）

③ 提供時間、時間帯



④ 1日あたりの訪問回数(介護度別)、提供ケア内容

介1：1回 介2：1,2回 介3：2,3回 介4：3回 介5：3,4回

安否確認・見守り 服薬介助・確認 排泄介助 食事の提供 買い物 他

⑤ コール対応

時間帯	早朝(6-8)	日中(8-18)	夜間(18-22)	深夜(22-6)
コール件数	3件	14件	3件	4件
内容	転倒(1) 誤報(1) 排泄介助(1)	体調不良(6) 誤報(7) 不安解消(1)	体調不良(2) 誤報(1)	体調不良(2) (3:00 22:00) 誤報(2)
対応状況	訪問対応(2) 会話対応(1)	訪問対応(6) 会話対応(8)	訪問対応(2) 会話対応(2)	訪問対応(3) ※誤報：通話で きなかったため 訪問確認

(2) 職員

・職員は兼務も含めて看護師3名、介護福祉士5名であり、他に法人内の看護師も数名登録している。通常は看護師含め4名から6名体制でサービス提供を行っている。

・アイドルタイム(待機時間)への対応

法人内特養との兼務のため、業務量が少ない時間帯には他サービス(ユニット)の応援に回るなどして、人員の効率的な運用を図っている。

(3) 訪問看護

・現在、訪問看護は定期巡回の一体型として提供している。その際、主治医の指示や当事業所の介護従事者と連携をしながら、自宅で健康状態の観察・療養上のお世話や日常生活動作の訓練を行っている。

- (4) 訪問介護サービス(介護予防・日常支援総合事業含む)
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護に適さない訪問については、従来の訪問介護サービスで対応している。R2年3月現在2名。

2. 利用者の生活の質の向上

① 安定した生活

・状態が不安定な利用者や独居であっても、サービス提供しながら必要なサービス回数・内容等に関するアセスメントを行い、そのアセスメントに応じてサービス回数・内容等を適時変更することで、生活のリズムが生まれ、状態安定に結びついている。

② 不安解消

・包括サービス(24時間365日対応)であるため、サービスを提供していない時間において、発生した事故、病状の急変、不安や精神的な不安定についても包括的に対応することで、利用者・家族の不安解消につながっている。

③ 環境整備・自立支援

・ガスコンロからIH調理器に変更など、環境の変化に適応できるように、声かけや助言、又は一緒に取り組むことにより、自立した日常生活を営むことが出来ている。

3. スタッフの質・サービスの質の向上

《研修》

	事業所内研修	オークス東海内研修
4月	プライバシー保護に関する研修	
5月	倫理及び法令に関する研修	
6月		食中毒予防研修 (5, 13, 21) フィジカルロックについて (10, 18, 26)
8月		接遇：アンガーマネジメントについて (20, 22, 29) 防災訓練： 放射能災害時の陽圧システム作動方法 (6, 26, 28)
9月	リスクマネジメント (事故発生時の対応)	
10月		インフルエンザ対策について (9)
11月	緊急時対応 (夜間帯編)	
12月		虐待と不適切なケア (5, 9, 20) グループワーク
1月		褥瘡対策：除圧について (10, 23, 29)
2月		認知症介護と水分について (7, 13)

#### 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の推進

##### ① 定期巡回運営推進会議の開催（年2回）

医療関係者を含めた地域の関係者(利用者、利用者家族、地域の医療関係者、地域住民、市町村職員、地域包括支援センターの職員等)に対し、提供しているサービス内容や運営状況等について報告し、地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報共有を行い、介護と医療の連携を図っている。

##### ② ケアマネジャーへの周知

会議体経由の情報提供と個別訪問を中心とし、サービス理解の促進に向けた取り組み(勉強会)を行っている。

## 介護職員初任者研修養成講座

### ① 研修期間

第1回 平成31年4月26日～令和元年6月21日

第2回 令和元年9月20日～令和元年11月19日

第3回 令和2年1月24日～令和2年3月17日

### ② 研修科目及び研修時間数（15日間 130時間）

科目	スクーリング	自宅学習
1. 職務の理解	6時間	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	1時間30分	7時間30分
3. 介護の基本	3時間	3時間
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1時間30分	7時間30分
5. 介護におけるコミュニケーション	3時間	3時間
6. 老化の理解	3時間	3時間
7. 認知症の理解	3時間	3時間
8. 障害の理解	1時間30分	1時間30分
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	63時間	12時間
10. 振り返り	4時間	

### ③各科目の指導目標

#### 1. 職務の理解

介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。

#### 2. 介護における尊厳の保持・自立支援

介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解してもらう。

#### 3. 介護の基本

介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解でき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようにする。

#### 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れ、各専門職の役割と責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。

#### 5. 介護におけるコミュニケーション技術

高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者としての最低限の取るべき行動例を理解できるようにする。

#### 6. 老化の理解

加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。

#### 7. 認知症の理解

介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解できるようにする。

#### 8. 障害の理解

障害の概念と I C F、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について列挙できるようにする。

#### 9. こころとからだのしくみと生活支援技術

①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。

#### 10. 振り返り

研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢と学習課題の認識を図っていく。

#### ④受講生人数（定員10名）

第1回 （0名）

第2回 （1名）

第3回 （0名）

#### ⑤受講料

69,000円（テキスト代含む）

#### ⑥講師人数

13名